Model Course 16

葛城の道（かつらぎみち）

【葛城第二十二経塚（水越多和）】
【葛城第二十三経塚（倶尸羅）】

田園風景ののどかな 葛城の道を歩いて 2つの経塚と役行者誕生の地へ

大和葛城山の麓は、古代史が彩る地で、葛城の道が整備されている。古い時代には、大和葛城山だけではなく金剛山も含めて葛城山（葛木山）と呼んだ。金剛山の山裾にある第二十二経塚を訪ね、葛城の道を散策する。少し距離は離れるが、役行者が誕生したという茅原の吉祥草寺にも足を延ばそう。

名柄バス停で下車して山の手に向かい、関屋集落を経由して国道に入る。ループ橋を歩き終えると、左手に第二十二経塚への林道が派生する。コンクリート道を登り、左に現れる山道をマーキングのテープを頼りにたどって、第二十二経塚へ。

地蔵を拝したらもと来た道に戻り、名柄の集落に入る。旧家の中村家住宅まで来たら、あとは葛城の道の道標を頼りに歩くことができる。一言主神社の石鳥居の角で右に折れ、参道を「いちごんさん」で知られる葛城一言主神社へ。一言主は葛城一帯の地主神で、古事記のほか、役行者の物語にも登場する。一言だけ願いを聞いてくれるという信仰がある。

次に山裾を歩いて九品寺へ。裏にある千体石仏で有名な寺だ。このあたりからのどかな田園風景となり、大きな石に刻まれた六体地蔵石仏まで続く。葛城第二十三経塚は、六体地蔵石仏のある十字路を北へ直進したところにある。地蔵寺跡といわれ、町中にあるだけに掃き清められている。五輪塔が経塚とされている。六体地蔵石仏が第二十三経塚との説もある。

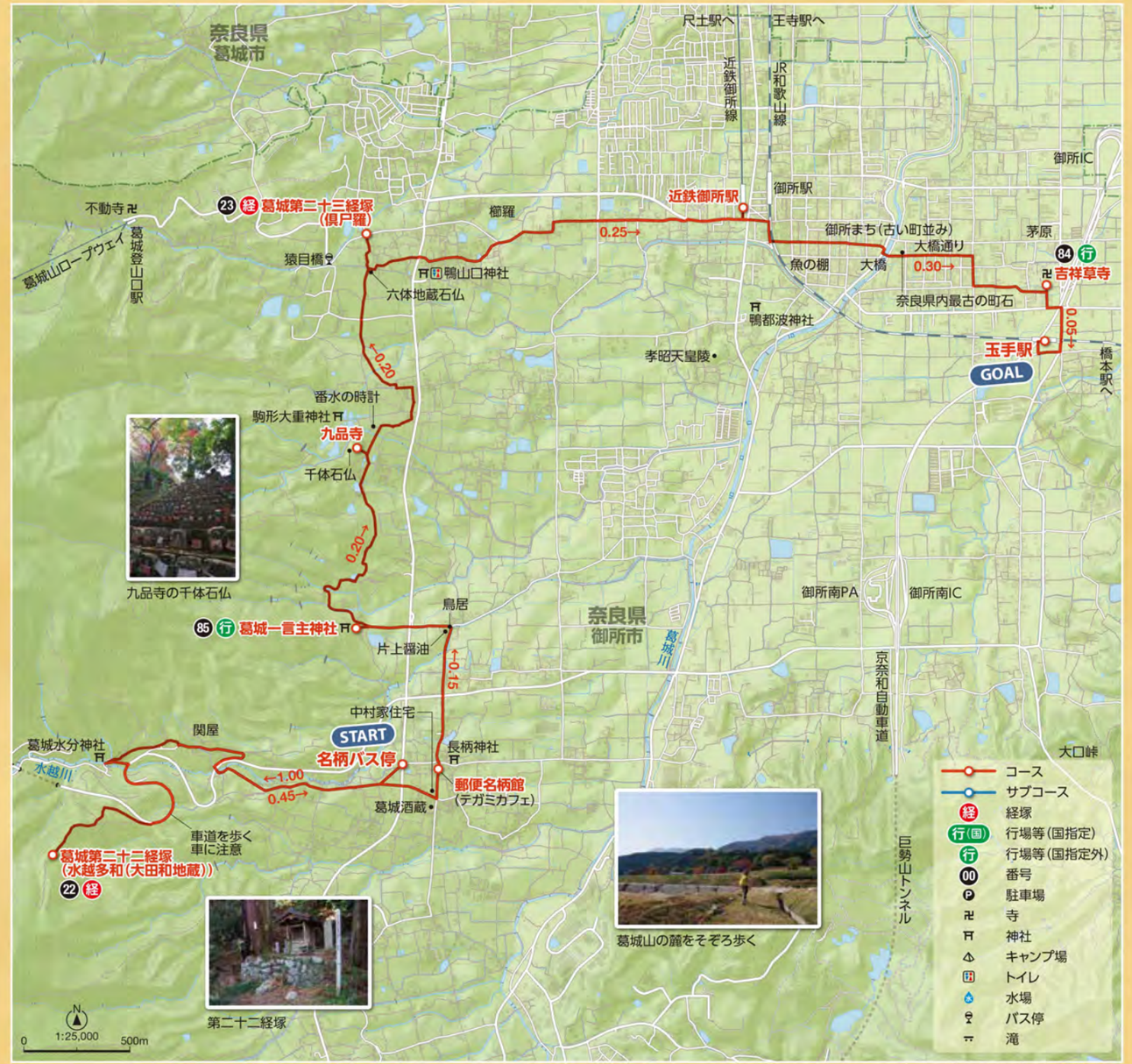
六体地蔵石仏に戻り、近鉄御所駅に向けて下っていこう。途中には鴨山口神社がある。近鉄御所駅まで来たら信号を渡り、直進、JR線手前で右に折れ、小ぢんまりした商店街を抜け左折する。御所まちの古い町並みを抜けて吉祥草寺へ。帰りは玉手駅が近い。

歩行距離	約15km
歩行時間	3時間40分
体力レベル	☆★★
登山レベル	☆★★

コースタイム

START 名柄バス停
↓ 1時間
第二十二経塚
↓ 45分
郵便名柄館
↓ 15分
葛城一言主神社
↓ 20分
九品寺
↓ 20分
葛城第二十三経塚
↓ 25分
近鉄御所駅
↓ 30分
吉祥草寺
↓ 5分
GOAL JR和歌山線玉手駅

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報

名柄にある郵便名柄館は、カフェと郵便資料館が併設

「いちごんさん」で親しまれる葛城一言主神社の参道

関屋から天気がよければ遠く大峰山脈が望める

御所まちあたりには、古い町並みが残っている

アクセス

往路

近鉄御所線 御所駅 → 35分 御所市コミュニティバス → 名柄バス停

＊所要時間は外回り循環（内回り循環の場合は約47分）

復路

JR和歌山線玉手駅

アドバイス

第二十二経塚のアプローチ以外は車道歩きなので、足元はスニーカーでもよい。国道のループ橋は車の往来も多いので注意しよう。また、第二十二経塚への道もマーキングを見落とさないように。名柄へのバス便は少ないので事前に調べよう。帰りの電車はJR和歌山線の本数が少ないので、近鉄御所駅に戻るほうが早い場合も。